



おおさか

会長所感

佐薙啓一

世界、我々の生活は数えきれないほどの課題に包まれ、不安と嘆きは増し、翻弄されそうになる。時として人々の幸せや平和を目指すはずの宗教の一部でさえ政治や紛争に絡んでいると感じる。その様な状況に FF 活動の意味、これからのFFを改めて考える中、FFI の理事から幾つかのメッセージを目にした。一部を転載する。

「私たちの仕事は政治的なものではない。個人的なものです。それは人間です。顔と顔、心と心で会い、以前には存在しなかったかもしれない理解を築くことです。(中略)対立があっても人々を結びつけるために存在しています。政府だけでなく個人が平和をもたらし、文化的・政治的な分断を越える架け橋を築くことができるという、市民外交の力を深く信じていました。(中略)今こそ、私たちの使命に身を委ねる時です。私たちの家を開き続け、私たちの生活を分かち合い、友情の手を差し伸べ続けることです。このようにして、理解が深まっています。これが平和の始まりです。」

また別のメッセージでは「FFIは常に単なる旅行ではなく、ムーブメントです。(中略)今日の世界で前進し事業を拡大するために、私たちの道を形作る3つの主要な柱を特定しました。

・旅やイベントを通じて異文化間のつながりと友情を強化します。

・より良き地球市民を育成するための教育・研修

・コミュニティや組織のパートナーシップやプロジェクトに参加して、私たちの範囲を拡大します。」

とある。混沌とした世界、真偽の入り混じったネット社会にあって日々の生活に追われがちな人々にとって、活動の今後、意義を訴える内容だと感じる。渡航の際に受けたホストのもてなしに感動してステイホストを引受けたといった話、受入れや渡航の報告会での話、日頃の活動の感想などを聞くと、感銘を受けることが多い。今年もお互いに支え合い、刺激し合って、自らの楽しみを得るとともに、QOLを高め、ミッションの具現化に繋がる活動を目指したい。

2025年総会及び新年会

2025年度の総会と新年会が、1月19日(日)、大阪梅田の四季自然喰処「たちばな」で会員20名が出席し開催されました。和やかな食事会の後、議長に岡田哲也さんを選び議事に入りました。まず1号議案として、前年度の活動報告、会計報告、監査報告が審議され承認された後、2号議案として委員候補の提案があり、9名の委員(顧問含む)の継続就任、1名の旧委員の退任および1名の新委員の就任(三枝恵子さん)が承認されました。会長には引き続き佐薙啓一さんが就任されました。続いて3号議案「大阪クラブ年会費改定およびFFI年会費の扱い」について審議され以下の通り決定されました。

- ① これまでは、徴収した大阪クラブの年会費の中から FFI の年会費を支払ってきたが、今後はこれらを区別して徴収する。
- ② 大阪クラブの年会費は、個人会費 3,500 円、家族会員 5,000 円とする。別途 FFI の年会費 (30 \$) を徴収するが、当面の円安傾向を勘案して今年度は徴収額の限度額を設ける。

この年会費改定に伴う会則の変更が 4 号議案として承認されました。

5 号議案では、4 月のウェスタンコロラドの受け入れ、秋に予定しているグレートアトランタへの渡航を含む 2025 年度活動計画、同予算案が審議され、承認されました。

また、報告事項として、アメリカ・EWNI クラブの受け入れ、台湾・新竹クラブへの渡航、中部ブロック会議(静岡)及び日本大会(東京)についての報告がなされました。

(金山事務局)



2025 年委員

職	氏名	担当役割
会長	佐藤 啓一	統括
副会長	岩田 幸子	催事業務
副会長	山田 多津美	広報業務
事務局長	金山 忠夫	事務局業務
会計	菅原 誠子	会計業務
委員	長谷部 純子	催事業務
委員	西田 直美	広報業務
委員	岡田 哲也	広報業務
委員	三枝 恵子	催事業務
顧問	池田 政綱	
会計監査	長谷部 純子	兼務



2025 年 Western Colorado Club 受け入れ

2025年4月2日から8日の日程で West Colorado Club を中心に Florida, Washington, Northern Colorado の混成チーム 12 人が当クラブを訪問してくれました。今回は京都地区に 6 名、神戸地区に 6 名のステイ先と真ん中の大阪が中抜けとなりましたが、アンバサダー全員が初来日ということで双方にとって非常に感慨深い受け入れとなりました。日程は以下の通りです。

4月2日(水) 東京から新幹線で京都、新神戸に6名ずつ到着



4月3日(木) 京都バスツアー



4月4日(金) 各ホストアレンジによるフリーデー

4月5日(土) 神戸地区 池田、三枝ホスはミニコンサート

神戸地区 森本、荒田ホスは習字、マジックショー、Potluck、茶道体験など

京都地区 6名は着物体験、バーベキューパーティーなど



4月6日(日) 大阪キャッスルホテルにてフェアウェルパーティー



沖縄三線の演奏で全員が輪になってエイサーを踊りました。またアンバサダーもコーラスを2曲披露してくださいました。

4月7日(月) 各ホストアレンジでのフリーデー

4月8日(火) 伊丹空港と関西空港から帰国

さっそく代表の Beverly さんから以下のメッセージをいただきました。(HC 岡田哲也)



Hello Tony, We are safe at home. Words cannot describe how wonderful everyone 's experiences have been in Osaka and neighboring areas. We will be remembering and sharing our experiences for a long time... All positive. Thank you so much to the entire club... In friendship, forever, Beverly.

一人住まいの私に受け入れが出来るか不安でした。一人ですので行事の帰宅後の食事を考え数日前から色々作って冷凍していきました。到着した日、スケジュールを手渡すと、京都は着物を着るみたいだけれど、神戸はしないのかと。「それが一番の夢だ」と。急遽着物を用意したが、着せられないので、近所の方に来て頂いて着付けをしてもらおう。二人は大喜びで写真を撮りあっていた。やれやれ。

フリーデイに100円ショップに連れて行くと、DONNAはなんと85個も買い、開店以来のお買い上げらしい。ELIZABETHは3個だけ。余計なものは買わない。全く正反対の二人。

我が家でのポットラックパーティーでは巻き寿司体験を。ランチ後手品を楽しみ、書道体験。色紙に書きお土産に。皆とてもお上手で、日本人もビックリ！

最後のフリーデイは荒田さんのご主人の運転で淡路へ。夢サジキに、そして吹き流し作り体験。そしてお香作り体験と。私一人ではかなわない体験を荒田さんご夫婦で体験させて頂き、荒田さんご夫婦に只々感謝。疲れはしましたが、アツという間に過ぎた楽しい、思い出深い1週間でした。

(森本 篤子)

初めての受け入れ体験

受け入れが決定してから色々準備をしてきましたが、アツという間に月日が経ち 2025 年、4月2日～4月8日 コロラドから2人のアンバサダーが我が家へやってこられました。

1週間、毎日外出して疲れたのではないかと思いましたが体調を崩されることなく、様々な体験と一緒に共有して楽しむことが出来ました。

ハプニングもありましたが、帰国されてからも我が家では思い出話に華がさき余韻に浸っています。とても良い経験ができたと思います。ありがとうございました。

(荒田 桜子)

メール交信で日本渡航への楽しみの気持ちが強く感じられたので京都の世界遺産や国宝巡りをしたり錦市場で食巡り、シルバー英会話サークルの仲間とのファミレス歓談交流、武道センターで弓道練習見学と少しの体験交流、希望された竹林へもコトコト嵐電でゆったり移動。滞在中の移動はほぼ公共交通機関と徒歩。よく歩いた。疲れたに違いないのにそぶりも見せないで『よく頑張ったね』と互いを讃えていた。短時間でもアクセサリをカスタマイズされたり頻繁に徹底的精神がにじみ出ていた。

アメリカではグルテンフリー専門店が多数あること、日本では両替場所を見つけるのに苦労したと聞いた。テキパキ Kathy と粘りの LaDonna とお会い出来 私も Kathy や Ladonna のように世界旅行したいと思いました。思い出深く貴重な1週間となりました。この会をお世話して下さいました皆々様に深く感謝申し上げます。

(古屋 志保子)

男ばかりの日々

Dan と Donald の男性二人を受け入れました。清美が左ひざを骨折し、地域デーとパーティー以外は、私一人で連れて行きました。男ばかり3人で何の話をしようかと思いましたが、二人が次から次に質問してきて、話題が尽きませんでした。例えば、受入冊子の OSAKA のページで、Keihanshin とは何か。Kansai と違うのかと聞かれ、京阪神と関西の違いを説明しました。道端の円形の蓋は何かと聞かれ、引っ張り上げると支柱が出てくる『車止め』だと話しました。ごみ置き場にかける網が、緑色と黄色があるのはなぜかと聞かれ、黄色はカラスが嫌いな色だと答えましたが、これは間違いでした。話ばかりしていて、写真を撮りほとんど撮っていません。終わった後、私は微熱を出してしまいました。

(朝倉 隆夫)

今回の受け入れは80歳の Gorgia と62歳の Kelly。二人とも日本は初めてでフリーデーの日のお茶会やお琴演奏は緊張しながらも楽しんでいました。

二回目のフリーデーは孫たちと対面、つたない英語でそれぞれが手作りのプレゼントを渡し、庭先で剣道を披露、ランチの後のイチゴ大福や三色だんごも孫たちと一緒に喜んで召し上がっていました。地域デーの日は着物着付け、おにぎりづくりにも挑戦、特に Kelly は着物に興味があり着物を三枚も買っていました。二人とも豚肉は食べられない、魚貝類もだめで献立に悩みましたが串揚げはお気に入りでした。

(金山 順子・
ハナ)

まず、今回の我々のゲストは Florida クラブからのジョイント参加であった。そのせいもあり事前のメール交信でこちらのメールに対して中々返事をもらえず、うまく受け入れが出来るか少し不安であったが、受け入れてからは全く問題もなくスムーズに進んだ。因みにメールは滅多に見ないらしい。

もう一件は、毎年開催しているミニコンサートを今回も生駒さん宅をお借りして11名の参加、ピアノ、ギター、ドラム、フルート、歌等で大変喜んでくれた。特に三枝さんの娘さん、寺西さんの姪御さんも参加され FF の活動に興味をもってくれたので将来 FF のメンバーを期待したい。

(池田 政綱)

4月2日、新神戸駅で私達のアンバサダー Joanna と Linda を出迎えて、前半受け入れシェアホストの三枝さん宅へお連れする。二人共明るくて元気だ。中でも Linda は83歳とは思えないほどだった。Joanna はフリーデーに「広島日帰りツアー」に一人で参加して13時間という長時間だったがとても良かったと感激していた。

私の趣味は Knitting で Linda も同じ。私がいま編んでいるのを見て、早速その編み物の本を Amazon で注文したのは驚いた。

今回私達は後半だけのシェア受け入れだったので楽しんでもらった。デイホストの三枝さんの娘さんの莉紗ちゃん、藤田さん、ディナーホストの寺西さん、地域デイでいつも家を提供して下さる元 FFO メンバーの生駒さん、皆さんの連携プレーでスムーズに行きました。

8日に梅田で関空行きのリムジンバスに乗せて見送るときはハグして” See you again!” と言って別れを惜しみました。世界の FF の友人がまた増えました。

(宗廣 はつ子)

Linda と Joanne は陽気でおしゃべりなアメリカ人。初めての受け入れで不安だった私たちも、彼女たちの明るさにすぐに打ち解けました。桜の下での花見や振袖体験、坊主めくりのほか、こたつで団らんしたり、普段通りの食事を楽しんでもらったりと、いつもの我が家の暮らしをそのまま体験してもらいました。Joanne は広島ツアーにも参加し、日本の歴史にも触れてくれました。自然体で過ごす中で、文化・生活の違いが会話につながり、短いながらも心が通う素晴らしいホームステイになりました。

(三枝 恵子)



今後の行事予定

- 5月10日(土) World Friendship Day 関連クラブ内交流行事
阪神淡路大震災記念「人と防災未来センター」、兵庫県立美術館見学
- 6月28日(土) 中部ブロック大会 奈良市 ホテルリガール春日野
- 12:30～ 全体会議
15:00～ 分科会
16:45～ 懇親会

2025年10月2～8日の日程で Greater Atlanta Club へ渡航します



日本人の大半の人にとって他の大都市と比べて余り情報量が多くないせいか、アトランタと聞いて思い浮かべるものはコカ・コーラ、CNN、小説“風と共に去りぬ”の舞台、マーチン・ルーサー・キングJr、といったところでしょうか。しかし、少し踏み込んでみると日本とのつながり、関係が深いことが分かります。ジョージア州全体では400社以上の日系企業が進出しており、3万人以上の雇用創出にも貢献しています。アトランタの姉妹都市福岡市を含め、日本の11の自治体が友好都市を締結しています。1994年6月10日には当時の天皇皇后両陛下(現上皇皇后陛下)がアトランタを訪問、MLKセンターで献花もされました。勿論FFの本部所在地でもあります。交流の後数日のツアーを計画しています。Hotlanta と揶揄される位夏は暑いのですが、その時期を避けて貰うように日程変更をして貰いました。アメリカ南部の今、ホスピタリティーを理解する良い機会です。(佐藤啓一)

新入会員紹介

はじめまして 荒田桜子と申します。 桜子と書きますが(ようこ)と読みます。名前の通り3月生まれです。これは祖父が命名してくれたのですが、珍しいのですぐに覚えてもらえ感謝してます。私は以前から外国の方を受け入れることに興味があり、どこか団体はないかなーと思っていたら英語教室で岩田さんとお知り合いになり、フレンドシップフォースを教えてください、その日のうちに入会したいと考えました。最初、家族も半信半疑で話を聞いていましたが、今回、実際に受け入れることになり、「晩御飯はなにがいいかな、どこに行けば喜んでもらえるかな」と楽しみにしてくれるようになりました。自宅は小さいのですが、日本の食事や文化、習慣を紹介し、楽しみながらおもてなしが出来たらいいなあと考えています。又、前後しましたがフレンドシップフォースの皆様とも活動を通じて交流を深めたいと思っています。よろしくお願ひします。



編集後記

大阪万博で国際交流がクローズアップされていますが、我々は開幕の2週間も前に本格的な交流を行うことができました。この事前交流は万博訪問の意義、内容を考える上で大きなヒントを与えてくれる機会になると思います。(T.O.)

編集発行 フレンドシップフォース 大阪クラブ
発行日 2025年5月10日 第79号
事務局 〒573-0032 枚方市岡東町1-10
金山忠夫 kanayama573@gaia.eonet.ne.jp
ホームページ担当 西田 直美
<http://ffosaka.pro.tok2.com/>
編集人 佐藤、金山、山田、西田、岡田